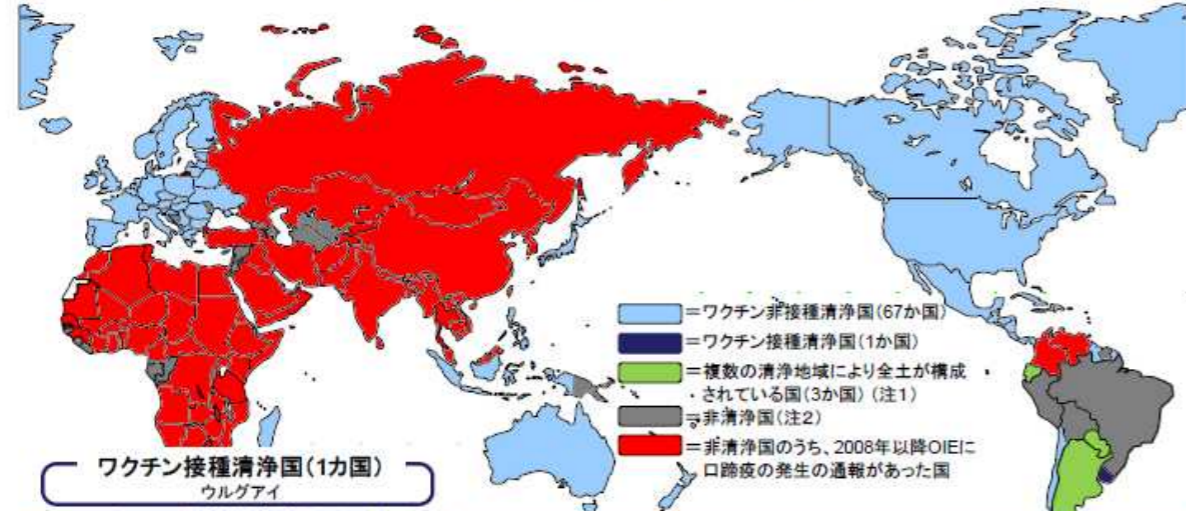


世界における口蹄疫の発生状況

2016年1月19日現在



ワクチン接種済浄国(1か国)
ウルグアイ

ワクチン非接種済浄国(67か国)

～ヨーロッパ(39か国)～	チェコ	ハンガリー	オランダ	スウェーデン	～アジア(5か国)～	～オセアニア(4か国)～	～南北アメリカ(15か国)～
アルバニア	デンマーク	アイスランド	セルビア	日本	オーストラリア	カナダ	ニカラグア
オーストリア	エストニア	アイスランド	モンテネグロ	インドネシア	ニュージーランド	チリ	パナマ
ペルー	フィンランド	イタリア	ボスニア・ヘルツェゴビナ	シンガポール	パプアニューギニア	コスタリカ	米国
ベルギー	マケドニア	クロアチア	スロバキア	ブルネイ	フィリピン	キューバ	ベリーズ
クロアチア	フランス	ドイツ	ルクセンブルク	スロベニア	モリシャス	エルサルバドル	ドミニカ共和国
キプロス	ギリシャ	マルタ	スペイン	ブルガリア	セントクリストファー・ネイビス	グアテマラ	ハイチ
英国						ガイアナ	メキシコ
サンマリノ共和国						ホンジュラス	

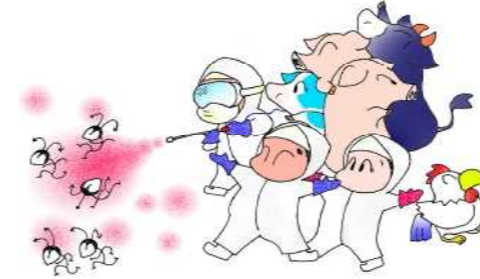
注1 国の全土が、ワクチン接種済浄地域又はワクチン非接種済浄地域により構成されている。①アルゼンチン:2つのワクチン非接種済浄地域と1つのワクチン接種済浄地域。
②パラグアイ:2つのワクチン接種済浄地域。③エクアドル:1つのワクチン非接種済浄地域と1つのワクチン接種済浄地域。
注2 非接種済浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種済浄地域/ワクチン接種済浄地域を含んでいる国を含む。
注3 フィリピン:ワクチン非接種済浄国認定 エクアドル:本土がワクチン接種済浄地域、ガラパゴス諸島がワクチン非接種済浄地域にそれぞれ認定 ※ 出典:OIE (2015年5月のOIE総会で認定)

広報家畜衛生

No.310 平成28年3月10日

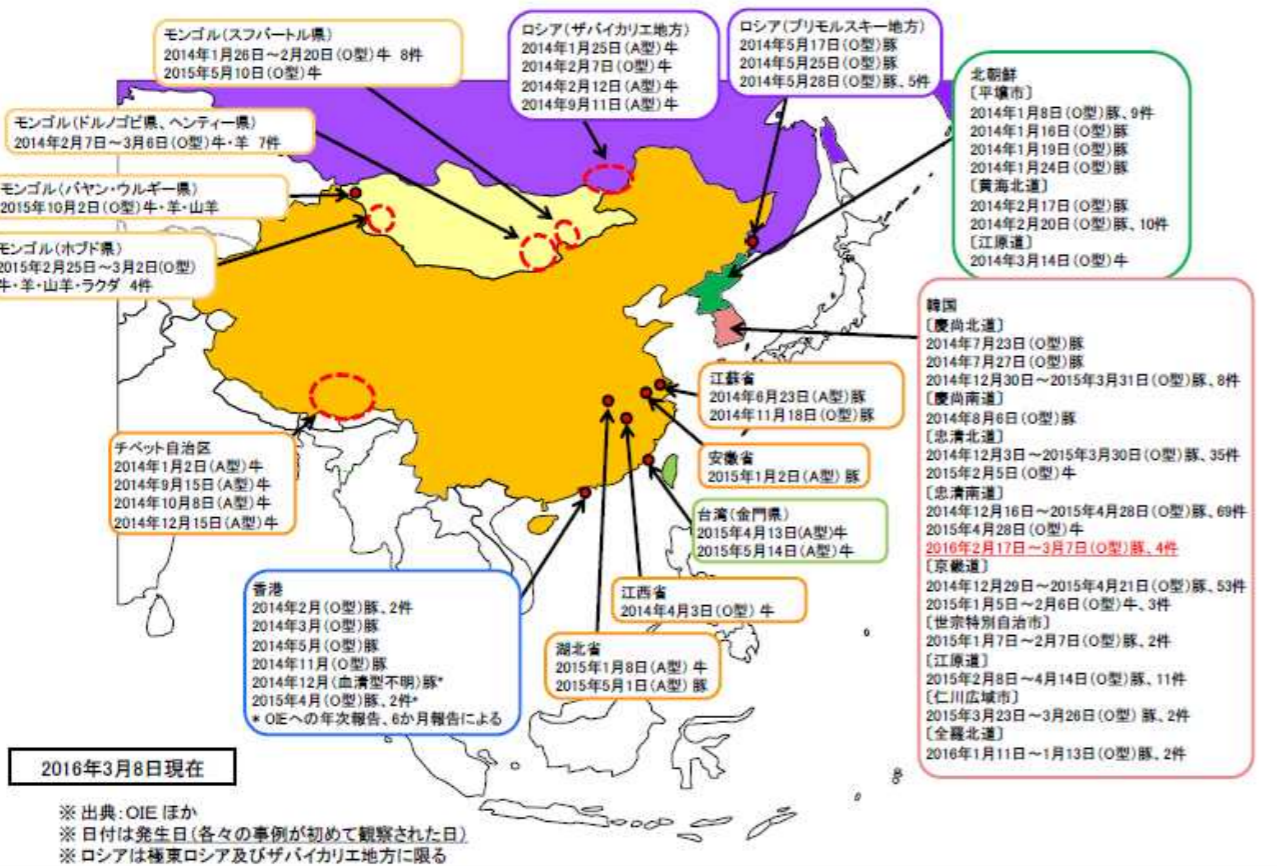
徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397
西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

家畜保健衛生所ホームページ URL
http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014_022000090/



海外においては、
口蹄疫が続発生しています。
畜産関係者の皆様はご注意ください

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2014年1月以降の発生)



畜産関係者の方で外国に行かれる場合

中国や東南アジアの国々は、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚コレラなどの悪性伝染病の発生国であり、我が国はこれらの国からの動物及びそれに由来する肉の輸入を、原則として、禁止しています。

これまででもお願いしてきましたが、畜産に関係する仕事に従事している方々が、これらの国々を訪問した際には、家畜を飼育している農場などへの立ち入りは極力避けるようにしてください。

また、やむを得ず農場などの畜産関連施設へ立ち入ったり、家畜に接触した場合には、病原体が人や物に付着しているおそれがありますので、帰国時に動物検疫所のカウンターにお立ち寄りください。

我が国への病気の侵入を防止するため、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

近年、韓国を含め中国、台湾等の東アジア地域においては、口蹄疫の発生が続発しております。

近隣国である韓国においては、2016年3月7日に、忠清南道論山市の豚3,000頭一貫飼育農場において、口蹄疫（血清型：O型）感染が確認されました。



本病の発生防止に万全を期すため、以下の事項の確実な実施について、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 異常家畜の早期発見、早期通報にご留意ください。
 日常の健康観察を徹底し、口蹄疫を疑う症状を呈している家畜を発見したときは、**直ちに通報**してください。

<連絡先> 徳島県家畜防疫衛生センター
 西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
 0883-24-2029
 東みよし庁舎
 0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しております。

2. 農場出入り口・周辺での消毒を徹底してください。
3. 韓国、中国など発生国への不要不急の旅行は自粛をお願いします。
 また、発生国に滞在していたため、ウイルスを伝播させる可能性のある人及び物品を農場に近づけないようにしてください。
4. 農場に出入りする人・車両の記録をお願いします。
5. 当所からの広報など口蹄疫関係情報の収集に努めてください。

関係者全員が一致協力し、口蹄疫の発生防止に努めましょう！

畜産農家を含む畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。